

# ある町



震災・原発事故からみえた“ふるさと”

# HOME TOWN

震災ドキュメンタリー映画上映会&トーク・カフェ

2016.2.14 (SUN) 13:00 ~ 16:30

茨城大学人文学部講義棟 10番教室

主催：茨城大学人文学部市民共創教育研究センター、ふうあいねっと

後援：茨城大学 ICAS、双葉町、夢ふたば人

科研費 (B) 東海村臨界事故を踏まえた福島原発事故後の環境対策とまちづくりに関する総合的研究

問い合わせ：茨城大学・原口弥生 E-mail: yayoi.haraguchi.yh@vc.ibaraki.ac.jp

TEL/FAX: 029-228-8427

入場  
無料

poster designed by guchiko

# 震災・原発事故からみえた“ふるさと” HOME TOWN

## 企画趣旨

震災・原発事故の発生から5年を迎える時期に、当事者の言葉を通じて「等身大」の震災・原発事故の状況を社会に伝え、さらに長期化するふるさと再生に向けて今後の取組みについてフロアを交えてディスカッションします。具体的には、双葉町出身の茨城大学院生が被災された方々へのインタビューをまとめた記録映像（映画「ある町」）の上映、ならびに双葉町のふるさと再生に関わる町民や関係者とのトーク・セッションにより、この5年の多様な経験や想いを確認するとともに、それらを共有しつつどのように“ふるさと再生”を紡ぎだしていくことが可能かを議論します。

## 講師紹介

半谷 淳 (はんがい あつし)

公立中学校教師を36年間務め、退職後平成25年7月より、双葉町教育委員会教育長に就任した。就任後即双葉町長の公約である町立学校の開校事業に着手した。校舎建築に係る土地の選定、校舎の設計・建築、仮校舎の決定、保護者のアンケート、入学説明会等すべての業務を短時間で進め、翌平成26年4月の開校式にこぎつけた。幼稚園、小・中学校計11名でスタート、現在24名まで子供が増えてきた。少人数教育、英語教育、ICTの活用等の特色を生かし、教育の充実に日々努力している。

小林 辰洋 (こばやし たつひろ)

東京都八王子市出身。震災前は、映像制作・WEB広告運営会社にて、映像撮影・編集、DVD制作等を担当。震災後は、プロボノ活動を通じて復興支援に携わる。2012年4月より、RCF復興支援チーム（現：一般社団法人RCF）に参画し、主に、渉外、事業企画立案等を担当。双葉町復興支援員事業には企画立案から携わり、2013年8月より復興支援員として現場で活動を始める。双葉町と連携・協働し、情報発信の仕組みづくりやコンテンツづくりのサポートを行う。

山根光保子 (やまね みほこ)

双葉町出身。高校卒業まで双葉町で生活。専門学校卒業後、楽器製造メーカー勤務。2007年11月、双葉町へUターン。地元で接客業を経験し、ふるさとの温かさに触れる。震災後、会津若松市、埼玉県入間市などへ避難し、2011年10月よりいわき市で生活。2013年9月より双葉町復興支援員として活動。広報支援員として、県内外各地で双葉町民が参加するイベントの取材、コミュニティ紙「ふたばのわ」の企画編集を行う。

小野田 明 (おのだ あきら)

双葉町出身。2013年に茨城大学人文学部を卒業後、同大学院に進学し現在の双葉町について研究。双葉町とは自分にとってどんな存在なのかを知るため、町民へのインタビューや町内の撮影を開始。2013年「短編 ある町」を制作。

中谷 祥久 (なかや よしひさ)

双葉町出身。消防団員の若手を中心とした有志の会「夢ふたば人」を結成し、現在は会長として、江戸時代から続く双葉ダルマ市や盆踊り大会、夏祭りなどを主催。夢ふたば人の最終目標は「みんなで双葉に帰る」こと。

松本 涼一 (まつもと りょういち)

平成10年より福島県教員。平成21年から双葉中学校教諭。震災後は双葉中学校が休校となったため、埼玉県加須市立騎西中学校、楢葉中学校に勤務。平成26年よりいわき市の双葉中学校仮設校舎にて勤務再開。教員生活18年目。

Anthony Ballard (アンソニー バラード)

イギリス出身。約15年前に初めて来日し、友人に会うため双葉町を訪問。その小さな町の山と海に挟まれた美しい自然を好きになると同時に、出逢った双葉町の人々のあたたかさやおもてなしに感動。千葉県勝浦市でのJETプログラムに応募し、日本で英語教師として働き始める。2008年より双葉町のALT(外国語指導助手)として活動。また、双葉町の記録として写真を撮り続ける。各地で「双葉町モノクロ写真展」を開催。

Phillip Jellyman(フィリップ ジェリーマン)

イギリス出身。2002年に初来日。2004年にハル大学を卒業した後、JETプログラムに応募し、千葉で英語教師としてのキャリアをスタート。友人に会うため度々訪問していた双葉町に魅了され、2009年よりALTとして双葉町で働き始める。アンソニー氏とともに写真展を開催し、双葉町を記録し続けている。

## スケジュール

13:00 開会挨拶

13:10 上映会「ある町」

制作：小野田 明

15:10 上映会終了

休憩 15分

15:25 トーク・カフェ

～紡ぎだす“ふるさと再生”～

16:25 閉会挨拶

16:30 閉会

日時：2016年2月14日(日)

13:00～16:30

場所：茨城県水戸市文京2-1-1

茨城大学人文学部講義棟

10番教室